

専攻科服飾美術専攻修了生、今田千裕さんが「第3回 全国大学選抜染色作品展」の最優秀賞を受賞

本作品展は全国 16 大学から推薦された染色作家の中から、美術館関係者やジャーナリストたち委嘱審査委員による審査のもと選考されています。

今田さんは本学在学時に染色表現を学び、専攻科を終了後、岡山県立大学大学院に進学しています。先の 16 大学は美術、芸術を主体とした大学であり、その多数の推薦された作家作品から、今回最優秀賞を獲得したことは岡山県の中では初めてのことです。

「身に憶（おも）う」と題した作品はシルクオーガンジーの繊細な布に記憶や脳内に広がる神経細胞の動きなどをテーマにろうけつ染めで表現したタペストリー9枚を空間構成したインスタレーション作品です。日本画などで用いる顔料を取り入れた作品は独自の表現として評価されました。

今田さん曰く、「今後も国内外での展示、コンペなどに挑戦していけるよう更に制作に励んで参ります。」とのことで、さらなるテキスタイルアート表現の進展に大いなる期待を膨らませたいと感じております。

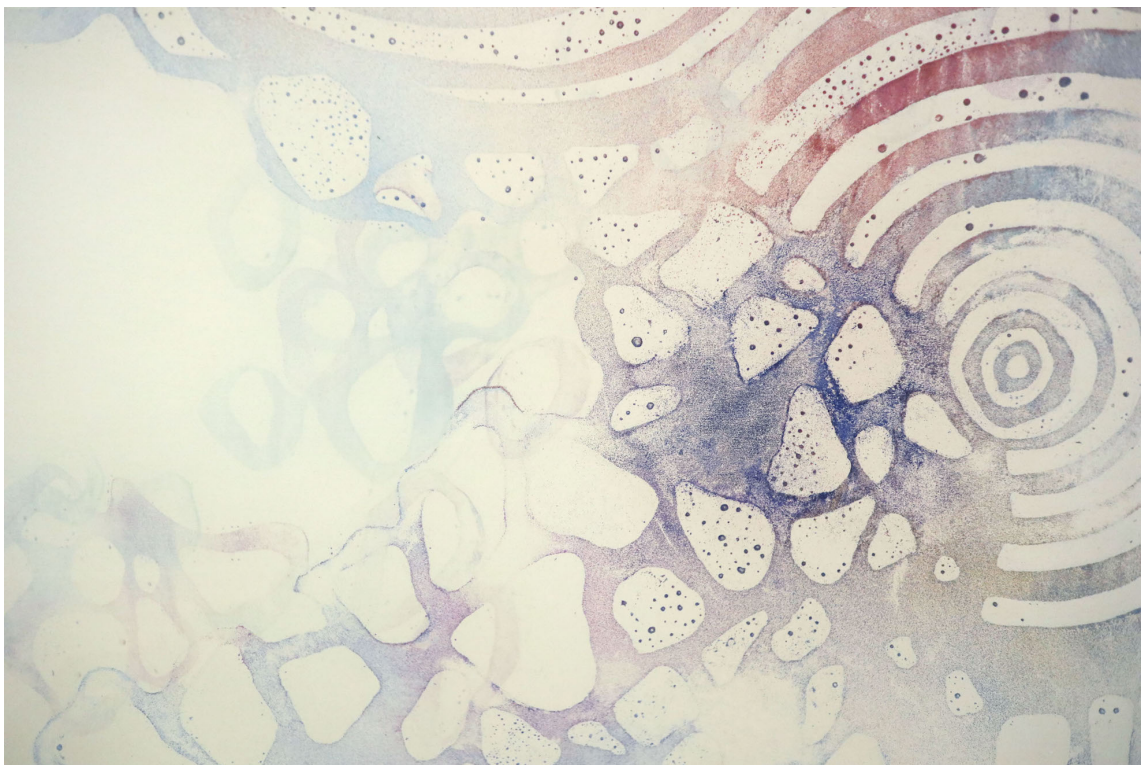
（文責：服飾美術学科テキスタイルデザイン領域担当准教授 田中孝明）



「身に憶（おも）う」作品展示風景



「身に憶（おも）う」作品部分



「身に憶（おも）う」作品部分